

令和4年4月5日

長崎リハビリテーション学院
学院長 鳥山 雅之 殿

学校関係者評価委員会
委員長 美野田 哲夫

令和3年度第3回学校関係者評価委員会報告について

令和3年度自己評価に対する学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 山下 均 (鈴木病院 リハビリテーション科科長 理学療法士)
- ② 岩永真仁 (南野病院 リハビリテーション科副科長 作業療法士)
- ③ 福田優希 (長崎みなとメディカルセンター市民病院 言語聴覚士)
- ④ 平野英三 (元同窓会会長 愛野記念病院 事務長代理)、副委員長
- ⑤ 橋口研一 (大村市赤佐古町 町内会長)
- ⑥ 祝 利久 (長崎県立大村高等学校 教頭)
- ⑦ 美野田哲夫 (元長崎県教育庁 県立学校校長)、委員長

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第3回委員会 令和4年 3月25日 (会場 長崎リハビリテーション学院)

3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標1. について

国家試験合格率は、前年度より向上した学科と低下した学科があるがいずれも全国平均を上回っている。さらに高いレベルを維持できるよう取り組んでほしい。コロナ禍により、リモート授業での対応や学内実習への変更などを余儀なくされ、大変な苦労があったことと思う。本格的なICT教育導入に向けた取組が始まっているとのことであるが、まずは全学科協力体制を軸に進めていく方向性について評価したい。

2 重点目標2. について

コロナ禍の影響で、ボランティア活動など学生の社会体験の機会が激減していることは、大きな問題である。早く終息することを願うが、現状で何かしら工夫の余地があれば検討してほしい。地域に開かれた学院という学校の教育理念は、コロナ禍にあっても持ち続けてほしい。

3 重点目標3. について

就労環境の改善では、向陽学園心理カウンセラーを週2回配置している。
メンタルヘルス対策、ハラスメント対策、勤怠管理の徹底等を継続して取り組んでほしい。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

理学療法学科と作業療法学科は新教育課程が 2020 年度入学者より適用され完全移行は 2022 年度となるが、問題なく進行している。言語療法学科は 2023 年指定規則改正にむけ計画的に取り組むことになる。5 年後 ICT 教育を受けた学生の入学を見据え、ICT 教育導入のための委員会を発足している。

2 学校運営

感染状況に応じた活動制限を行い、学内クラスターの発生を防ぐことができた。また感染拡大時には Microsoft Teams を利用したオンライン授業や職員のリモート会議の実施、学内実習での対応など、教育活動を中断することなく運営することができた。今後もこの状況が続くことが予想されるが、引き続き対応してほしい。

3 教育活動

実習対応能力評価であるオスキーは、昨年度、全学科 3 年生に導入しているが、今年度は評価の質検討や他学年への導入といった取組をしている。シラバスは講師の協力により年度初めにホームページに公開することができた。授業評価は実施しているが、完全実施と分析が今後の課題である。感染症拡大及びワクチン接種による副反応の影響により、追試、再試験の対象者が例年より多くスケジュール作成に苦慮したが各部署の連携により乗り切ることができた。

4 学修成果

国家試験合格率の更なる向上を目指してほしい。カリキュラムが多く学力の低い学生への指導など苦慮されることと思うが、工夫して取り組んでほしい。就職率は現時点で未定の者がいるが今後 100%の見通しとのこと。就職先の評価では、社会性の低さを指摘される者がおり、学内での教育が求められるところだが、最近は就職先で技術とともに社会性を育むという見方もある。退学者が昨年度より増加しており、早期からの対応が求められる。

5 学生支援

コロナ禍にあっては、授業のみならず、スマホ対応の国家試験対策システムの利用や就職活動ではWEB面接などの対応が求められており、学院内のWi-Fi環境の整備は急務と考える。ICT教育導入の予定とのことであるが、早急に対応してほしい。専門職教育訓練講座に作業療法学科が更新認定、言語療法学科が新規認定を受けたことにより、対象となる社会人学生への経済的支援が可能となった。

6 教育環境

前年度からの変更としては、購買部の設置があり、学生が利用しやすいよう工夫されている。老朽化している箇所の補修等が行われている。

7 学生の募集と受入れ

入試制度の名称変更や評価基準の見直しを行い、問題なく運営できている。コロナ禍の影響でオープンキャンパスの前半はリモート開催の回があったが、後半は対面で実施している。高校訪問や学校ガイダンスなど精力的に広報活動を行ったが、入学者は目標数を下回った。学科間で入学者数に差が生じているようなので、原因分析をすることが望ましい。

8 財務

財務は健全性と安全性を重視するところで、前年度と同様の対応となっている。

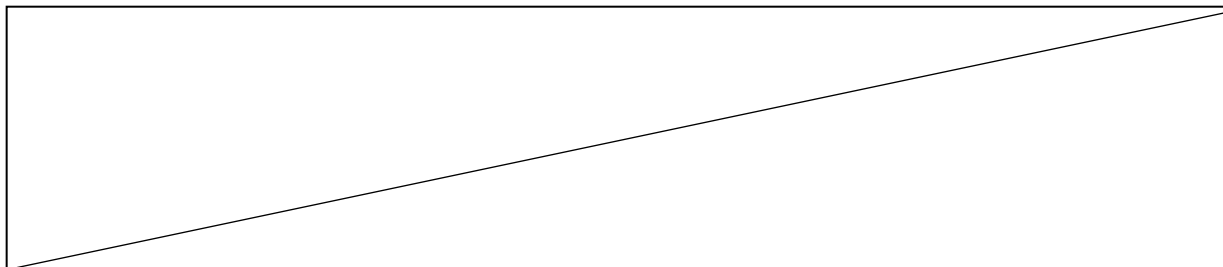
9 法令等の遵守

言語療法学科が専門職教育訓練講座の新規認定を受けた。作業療法学科は更新の認定を受けた。講座の制度に則り該当者には適切に対応することになる。関係法令、設置基準等は遵守できている。

10 社会貢献・地域貢献

コロナ禍で学生のボランティア等の社会活動体験ができなかった。依頼もなく、やむを得ない状況と思われる。もし可能性があればコロナ禍でのボランティア活動の工夫を試みてほしい。

11 国際交流 ※学校から必要がある項目として提示された場合



学校関係者評価

※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

1) 項目1：理念・目的・育成人材像

	項目	自己評価	学校関係者評価
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	4	4
1-1-2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	4
1-1-3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	4
1-1-4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4	4

2) 項目2：学校運営

	項目	自己評価	学校関係者評価
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	4	4
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	4
2-4-1	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	4
2-4-2	学校運営のための組織を整備しているか	4	4
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	3	3
2-6-1	意思決定システムを整備しているか	4	4
2-7-1	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4	4

3) 項目3：教育活動

	項目	自己評価	学校関係者評価
3-8-1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	4
3-8-2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4	4
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	4
3-9-2	教育課程について外部の意見を反映しているか	4	4
3-9-3	キャリア教育を実施しているか	4	4
3-9-4	授業評価を実施しているか	4	4

3-10-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4	4
3-10-2	各種科目試験は適切に行えているか	4	4
3-10-3	講義や実習の運営は適切に行えているか	4	4
3-10-4	学籍管理は適切に行えているか	4	4
3-11-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4	4
3-11-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	4	4
3-12-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4	4
3-12-2	教員の資質向上への取組みを行っているか	4	4
3-12-3	教員の組織体制を整備しているか	4	4

4) 項目 4 : 学修成果

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
4-13-1	就職率の向上が図られているか	4	4
4-14-1	資格・免許取得率の向上が図られているか	4	4
4-15-1	卒業生の社会的評価を把握しているか	4	4

5) 項目 5 : 学生支援

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
5-16-1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	4
5-17-1	退学率の低減が図られているか	4	4
5-18-1	学生相談に関する体制を整備しているか	4	4
5-19-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	4
5-19-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4	4
5-19-3	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4	4
5-20-1	保護者との連携体制を構築しているか	4	4
5-21-1	卒業生への支援体制を整備しているか	3	3
5-21-2	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	4
5-21-3	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4	4

6) 項目 6 : 教育環境

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	4

6-23-1	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	4
6-24-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4	4
6-24-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4	4

7) 項目7：学生の募集と受け入れ

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
7-25-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	4
7-25-2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	4	4
7-26-1	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	4
7-26-2	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	4
7-27-1	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	4
7-27-2	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	4	4

8) 項目8：財務

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
8-28-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	4
8-28-2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	4
8-29-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	4
8-29-2	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4	4
8-30-1	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	4
8-31-1	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3	3

9) 項目9：法令等の遵守

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
9-32-1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	4
9-33-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	4
9-34-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	4
9-34-2	自己評価結果を公表しているか	4	4
9-34-3	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4	4
9-34-4	学校関係者評価結果を公表しているか	4	4
9-35-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	4

10) 項目10：社会貢献・地域貢献

	項目	自己 評価	学校関係 者評価
10-36-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
10-37-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3	3